

広報はこね

令和8年 9 月号 2026 September No.819



箱根町 町制70周年

—— 1956 — 2026 ——

70年のあゆみ、これからの箱根





1956 → 2026

「70年の歩み、これからの箱根。」

1956年9月、湯本町、温泉村、宮城野村、仙石原村、箱根町の5カ町村が合併し現在の箱根町が誕生しました。

あれから70年。

温泉、豊かな自然、歴史ある街並み。

多くの人が訪れる観光地である一方、ここには毎日の暮らしがあります。

70年という時間の中で、箱根のまちは大きく変わりました。

道路や交通が整備され、観光の形も変わり、暮らしを取り巻く環境も大きく変化しました。

一方で、温泉や自然、人とのつながりなど、時代が変わっても大切に受け継がれてきたものがあります。

町制70周年を迎える今、これまでの箱根を少し振り返ってみたい。

70周年を迎えて

箱根町役場

箱根町長

勝俣 浩行

現在の箱根町が誕生してから70年の歳月が経ちました。

この70年という歩みは、先人の皆さまのたゆまぬ努力と、幾度となく訪れた危機を乗り越えてきた歴史でもあります。

豊かな自然資源と素晴らしい景観、先人が守り育ててきた文化や歴史、そしておもてなしの心といったものを大切にしながら、大きく発展を遂げてまいりました。

これまで関係されてきたすべての皆さま方のおかげで今の箱根があるという感謝の気持ちを忘れず、これからも多くの方々に愛される町であり続けなければならないという責任を改めて認識しています。未来に向けて、新たな歩みを進めてまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

箱根町会議長

村野 由紀子

町制施行70周年という輝かしい節目を迎えました。先人たちが守り育ててきた豊かな自然や歴史、そして町民の皆さまの郷土愛によって、現在の魅力あふれる本町が築き上げられましたことに、深く感謝と敬意を申し上げます。

この素晴らしい郷土を次世代へ引き継ぐとともに、皆さまがいつまでも笑顔で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、議会といたしましても、皆さまの声を原動力として一層の努力を重ねていく所存でありますので、引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。





人口

17,284人

※1956年9月30日の町制施行時

→ 10,263人

※2026年8月1日時点



出生数

240人

※1958年9月10日時点の数値

→ 27人

※2025年度の数値



町立小・中学校の 児童・生徒数

4,565人

※1965年10月1日時点の数値

→ 586人

※2025年時点の数値



世帯数

3,262世帯

※1955年時点の数値

→ 6,561世帯

※2025年度の数値



観光客数

約1,728万人

※1968年版箱根町統計書参考

→ 約2,112万人

※2026年5月発表



旅館・寮・保養所数

約529軒

※1968年版箱根町統計書参考

→ 約301軒

※2025年度版統計はこね参考



外国人住民

46人

※昭和60年の数値
平成元年度版統計はこね参考

→ 1,387人

※2025年時点の数値

70年間で、箱根の暮らしや観光はどのように変わったのでしょうか。
当時と現在の数字を比べてみます。

数字で見る、箱根の70年
数字から見えてくる、まちの変化。

数字だけでは見えない、70年。

数字を比べることで、箱根の変化を知ることができます。

でも、数字だけでは見えないものもあります。

そこには、箱根で暮らし、働き、地域を支えてきた人たちの一人ひとりの物語があります。

次のページからは、箱根の70年間で彩った出来事を振り返ります。

箱根の歩み 2017 → 2026

2017 [平成29年]

宮城野保育園新園舎完成

新園舎が完成しました。
子どもたちが安心して
過ごせる新たな環境が整
いました。



2018 [平成30年]

箱根八里日本遺産認定

歴史や文化を今に伝える
ストーリーとして日本
遺産に認定されました。
箱根の歴史的な魅力が
改めて注目されるきっか
けとなりました。



2019 [令和元年]

松尾駿さんがはこね親善大使就任

箱根町出身のお笑いコ
ンビ「チョコレートプラ
ネット」の松尾さんが、
はこね親善大使に就任。
箱根の魅力を広く発信す
る役割を担っています。



2019 [令和元年]

台風19号による被害

記録的な大雨を観測。
道路や鉄道など町の交
通網をはじめ、各地で大
きな被害が発生しました。



2020 [令和2年]

箱根登山鉄道が復旧

台風19号による被害
から約10か月。箱根登
山鉄道が全線で運転を再
開し、箱根に再びいつも
の風景が戻りました。



箱根70年 クロニクル

1956年の町制施行から2026年
まで。

70年の間には、社会の変化と
ともに、箱根にもさまざまな出
来事がありました。

ここでは、その中から箱根の
70年間の出来事を振り返ります。

ここ10年の出来事は写真付き
で紹介します。

箱根の歩み

1956 → 2016

1956 [昭和31年]

湯本町、温泉村、宮城野村、仙
石原村、箱根町の5町村が合併し、
現在の箱根町が誕生

1964 [昭和39年]

- ・総合計画を策定。日本経済の高度成長を背景に、観光を主体としたまちづくりを目指す
- ・北海道虻田町と観光姉妹都市を提携

1966 [昭和41年]

箱根で17番目の温泉場となる
「芦ノ湖温泉」が開湯

1969 [昭和44年]

現在の役場本庁舎が完成
他にも箱根観光物産館、温泉公
民館、宮城野公民館などが開館

1972 [昭和47年]

カナダ・アルバータ州ジャスパー
国立公園と観光姉妹都市を提携

1976 [昭和51年]

- ・町制20周年を迎え、町民歌「和む光の」を制定
- ・箱根湿生花園や郷土資料館など、箱根の特性を活かした施設がオープン

1984 [昭和59年]

箱根寄木細工が国の伝統的工芸
品に指定

1987 [昭和62年]

ニュージーランド国タウポ町と
姉妹都市を提携

1991 [平成 3 年]

箱根関所の観覧者が累計2,000万人を達成

1993 [平成 5 年]

美化センターが完成し、ごみの分別収集・資源ごみの収集を開始

1998 [平成10年]

「かながわ・ゆめ国体」剣道競技を開催。レイクアリーナ箱根を会場に全国から選手が集まる

2003 [平成15年]

箱根駅伝第80回大会を記念した予選会を箱根で開催

2012 [平成24年]

箱根ジオパークが誕生

2014 [平成26年]

- ・箱根の大地の成り立ちや火山について学べる施設として箱根ジオミュージアムが開館
- ・スイス連邦サンモリッツとの友好都市を提携

2015 [平成27年]

- ・火山活動が活発化し、大涌谷園地への立ち入りを規制
- ・八代亜紀さんがはこね親善大使に就任

2016 [平成28年]

大涌谷園地への立ち入り規制を解除。火山活動による規制から約1年3か月ぶりに、園地への立ち入りが再開

そして2026年

70年間、時代とともに変わり続けてきたものがある一方で、自然や温泉、人の温かさなど、変わらず大切にされてきたものもあります。

これまでの70年は、たくさんの人の暮らしや想いによってつくられてきました。

では、これからの箱根はどうなっていくのでしょうか。

2021 [令和 3 年]

はこね金太郎ライン開通

南足柄市と箱根町を結ぶ「はこね金太郎ライン」が開通。箱根と県西地域をつなぐ新たな道路が誕生しました。



2022 [令和 4 年]

湯立獅子舞国指定重要無形民俗文化財に指定

江戸時代から受け継がれてきた貴重な伝統が、箱根町で初めて国の重要無形民俗文化財に指定されました。



2023 [令和 5 年]

仙宮洞門開通

令和元年の台風により寸断された、国道138号は、約3年半に及ぶ工事期間を経て復旧しました。



2024 [令和 6 年]

移動スーパー開始

店舗まで行くのが難しい方も身近な場所で食品や日用品を購入できる新たな仕組みが始まりました。



2024 [令和 6 年]

箱根駅伝第100回大会開催

記念すべき第100回大会は青山学院大学が総合優勝を果たしました。毎年、箱根を駆け抜ける選手に、熱い声援が送られています。



2025 [令和 7 年]

Hakone Natsu Fes 2025 開催

お笑いコンビやライブ演奏など多彩な催しで盛り上がった音楽イベント。会場は笑いと歓声に包まれ大盛況となりました。



つないできた70年、 つないでいく未来

70周年でこれまでの歩
みを振り返るだけでなく、
これからの箱根について
考える、新たなスタート
でもあります。

人口減少や少子高齢化、
観光を取り巻く環境の変
化、災害への備え、自然
環境の保全、多様な文化
を持つ人との共生。

箱根を取り巻く環境は、
これからも変化してい
きます。

だからこそ、これまで
大切にしてきたものを守
りながら、新しい時代に
合わせて変えていくこと
が必要です。

そこで、さまざまな世
代、立場の町民の皆さん
に聞きました。

これからの箱根、
どうなってほしい？



萩原 希良梨 様 (仙石原)

私は生まれてから一度も箱根を離れたことがありません。それほど箱根は、私にとってかけがえのない場所です。その一番の理由は、人とのつながりです。地域の方々が家族のように接してくださり、困ったときには自然と助け合える環境で育ちました。

この温かさは、箱根の一番の魅力だと思っています。

その箱根で育った私も今では箱根で働き、子育てをしています。家庭を築く立場となった今、観光客に愛される町であるとともに、住む人にも選ばれ続ける町であってほしいと感じています。子どもたちが安心して遊べる場所や、若い世代が「ここで子育てをしたい」と思える環境や支援が、さらに充実してほしいと思います。これからも、人の温かさを大切にしながら、誰もが住み続けたいと思える箱根であり続けることを願っています。

私は箱根で生まれ育ちましたが、京都での大学生活やおよそ9年間の海外生活を経験した後、また箱根に帰ってきました。帰郷して5年ほど経ちますが、自然豊かで落ち着いた環境の中で生活できることが本当にありがたいと感じています。と同時に、近所に増えていく空き家や大型ホテルなどの開発が進む状況を見ると、この先箱根はどうなってしまうのだろうかと、という危惧もあります。箱根を訪れてくださる観光客の方々と素晴らしい自然環境を共有しつつ、しっかりと自然を守っていくことが必須であり、また、町の土台となる私たち住民にとってもより住みやすい町にすることも重要である、と日々感じています。

良い意味で変わらない、そして変われる箱根町になって欲しいと思います。



野地 陽良 様 (温泉)

私は、生まれてから今まで箱根町で育ってきました。箱根町は芦ノ湖や大涌谷など自然が豊かで、温泉や観光施設、歴史や文化を感じる場所があるところが魅力的で、周りに自慢できる町であることをとても誇りに思います。思い出といえば、小さい頃から学校行事などで自然と触れ合えたこと、職場体験などで箱根町に関係する仕事を体験できたことを思い出します。そして、私は兄弟3人とも相撲を習っていて、広報に載せていただき、町や地域の人々から沢山の応援を受けたことにとても感謝をしています。

10年後には、私が今まで受けてきたことを恩返しできるようにしたいです。そして、将来は箱根町役場の職員として働き、町をより良くしていきたいです。



山田 桃子 様 (宮城野)



散歩道にて

中村 光章 様 (湯本)

旧湯本町に生まれた私、愛犬との散歩先は自然と幼い頃の思い出残る箱根湯本駅周辺です。“桜・新緑・紅葉・小雪の舞”四季を楽しんでいます。最近は海外からのお客様との触れ合いも加わりました。(はじめの声掛けが大変なのですが…) 皆さん箱根の素晴らしさを、言葉と身体で伝えてくれます。

緑輝く朝に出会ったイタリアの淑女の話「自宅は『蝶々夫人』を作曲したプッチーニの生前のご近所！」と、ここから音楽の話に花が咲き…。その帰途で脳裏に浮かんだのは、一流オーケストラを相手に難曲を弾きこなす15歳の天才バイオリニストの堂々たる姿でした。

将来、世界で活躍する若き演奏家の出発点となる音楽コンクールの箱根開催！

企画、財政等の課題は多く、言うは易く行うは難しですが、豊かな自然環境に恵まれて絵画や彫刻など優れた文化・芸術が多くの観光客を魅了している箱根町にあって、才能ある若者を支援する音楽コンクールを開催し、音楽・芸術を推進する意義は大きいと思います。

将来的には、ここから世界へ羽ばたいた音楽家による「音楽祭・芸術週間」へと進化し、町の発展に繋がっていけば…と夢は膨らみました。(起伏ある散歩道を歩みながら)

これからの箱根、
どうなってほしい？



市川 毅 様 (仙石原)

5か町村が合併し、仙石原村が現在の箱根町となった頃、私は小学3年生でした。木造の校舎から1km離れた場所の、真新しい真っ白なコンクリートの校舎に引っ越した際には、自分の机や椅子だけでなく、読書室の本も自分達で運ばなくてはならず、背負子に机や椅子を括り付け、新しい校舎に何回も運ぶ、楽しい学校生活を送っていました。特に困った事は、冬の暖房は石炭ストーブで、裏山で拾った枝木を焚き付けて火を起こす作業が大変でした。

箱根町の姉妹都市である北海道の虻田町(現在の洞爺湖町)との交流が始まり、その時は「箱青連」という青年団の集まりに入っていました。虻田町青年部との交流が深められ、箱青連は、虻田町に行けない住民に現地の特産物を紹介できないかと話し合い、虻田町青年部に話したところ物事がトントン拍子に進み、婦人会の協力を得られ、回覧版でジャガイモ、玉ねぎ、小豆、ホタテ等の注文を取り、無事、皆さんに特産物を配れたことを思い出します。

PickUp

記念式典・イベント予定

01 町制70周年記念式典

日時 9月30日(水) 10時～
場所 仙石原文化センター
内容 町長式辞、町議会議長あいさつ、
来賓祝辞、記念講演会、
特別アトラクション

申し込み方法 9月24日(水)までに電話で
照会先 総務防災課 ☎85-9561

02 町制70周年記念企画展

合併前と現在の箱根のくらしの移り変わりについて、町内・町外より募集した昔の写真のほか昔の道具を展示し、70年のあゆみを辿ります。

日時 9月19日(土)～12月15日(火)
場所 郷土資料館 特別展示室
観覧料 一般(高校生以上) 300円
小学生および中学生 150円

これからも、 箱根とともに。

1956年から現在へ。

70年の歩みは、今日まで続いてきました。

そして、ここから先の歴史をつくっていくのは、私たち一人ひとりです。

次の10年へ。

そして、その先へ。

町は、これからも皆さんとともに歩んでいきます。

新しい「診療所」がはじまります。

10月2日、宮ノ下地区に新しい診療所が開設します

「近くで診てもらえる場所がほしい」

「体調が悪いとき、どこに相談すればいい？」

地域の皆さんが安心して暮らし続けられるよう、日常的な診療から健康に関する相談まで、身近な医療機関として地域を支えます。

ぜひお気軽に利用してください。

POINT 01 | 診療情報

▶ **診療所名** 箱根かしわざき診療所

▶ **院長/医学博士** 柏崎 暁

▶ **所在地** 宮ノ下397番地

POINT 02 | 診療時間は？

診療時間	火	水	木	金	土
9時～12時30分	○	○	○	○	○
14時30分～17時	○	○	○	/	/

POINT 03 | どんな診療を受けられる？

主な診療内容

▶ 内科

発熱、頭痛、めまい、胸の痛み、、風邪（せき・たん）、腹痛、便秘、下痢、嘔吐、膀胱炎、蕁麻疹、花粉症、生活習慣病 など

▶ 外科

切り傷、擦り傷、打撲、捻挫、寝違い、ぎっくり腰、肩こり、皮膚炎、痔核、膀胱炎、鼠径ヘルニア など



診療所外観（建設中の写真）

町民の皆さまへ
内覧会のお知らせ

9月26日(土)
10時～14時

▶ 照会先 さくら館 ☎85-0800

＼ 9月24日(木)から ／

町民課の窓口が新しくなります！ ～より利用しやすく、書かない窓口へ～

皆さんがより安心して手続きできる窓口を目指し、窓口レイアウトを変更します。新たにローカウンターを設置するほか、「書かない窓口」をさらに拡充し、手続きがより便利になります。

記入の負担軽減や待ち時間の短縮など、利用しやすい窓口へ生まれ変わります。



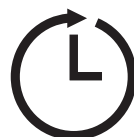
座って相談できる窓口へ

ローカウンターを設置し、負担なく相談しながら手続きできます。



「書かない窓口」を拡充

本人確認書類の情報を活用し、申請書の作成をサポートします。



待ち時間を短縮

記入作業を減らし、手続きがよりスムーズになります。



もっと利用しやすい窓口へ

誰もが安心して利用できる、やさしい窓口を目指します。

▶ 照会先 町民課 ☎85-7160

富士箱根伊豆国立公園指定90周年記念式典・体験イベントを開催！

自然と観光の好循環を目指して インバウンド時代の国立公園利用 ー 持続可能な観光のあり方 ー



富士箱根伊豆国立公園は、令和8年2月に指定90周年を迎えました。これを記念して、環境省主催による記念式典が開催されます。式典では、インバウンドを含む観光利用の増加を踏まえ、自然環境の保全と持続可能な観光について考えます。また、登山道整備や寄木細工などを体験できる国立公園体験ブースも出展されます。ぜひ参加してください。

記念式典

第1部 基調講演

エコツーリズムの専門家による基調講演を行います。

演題 「富士箱根伊豆国立公園、 次の100年への模索」

歴史ある富士箱根伊豆国立公園の多様性と価値、現在の課題を共有し、公園の価値を未来へ引き継ぐために必要なことを提言する。

講師 海津 ゆりえ 氏
(文教大学 国際学部国際観光学科 教授)

第2部 トークセッション

関係者による意見交換・取組み事例紹介を行います。

テーマ 「富士箱根伊豆国立公園の宝を 未来に引き継ぐー現場からの提案」

登壇者 上妻 信夫 氏 (箱根を守る会)
金子 森 氏 (ガイド)
佐藤 守 氏 (箱根DMO専務理事)
山崎 宏 氏 (ホールアース自然学校 代表)
近藤 光一 氏 (富士山登山学校ごうりき)

ファシリテーター 海津ゆりえ 氏

日時 令和8年10月14日(水)
10時～12時10分 (開場 9時30分)

会場 仙石原文化センター

定員 約100人 参加費 無料

申し込み方法 右記“申込フォーム”より申し込んでください。

申し込みはこちら

申込フォーム



国立公園体験ブース

第5回仙石原高原マーケット内に、国立公園体験ブースを出展します！

時間 11時～15時

会場 仙石原高原ふれあい広場

ブース内容

- 登山道の簡易整備体験 (箱根トレイルメンテナンス)
- 町伝統の寄木細工体験
- 国立公園内の素材を使ったクラフト販売 (パークボランティア)
- 国立公園の生き物と風景のグッズ作り体験
- 富士箱根伊豆国立公園管内の観光、自然などの魅力を紹介するブース (環境省) などを予定

自分で救う自分の命 ～自助の取り組み例～

01 食糧の備蓄

食糧だけでなく、大切なのは日頃から「何か」を備蓄しておくということです。

食糧を買って備蓄しておき、賞味期限が近づいてきたら消費し、また食糧を買う…という「ローリングストック法」を試してみてください。



02 自宅の耐震化

町では木造住宅の耐震化を促進しています。補助制度もありますので、この機会に耐震について考えてみてください。



補助制度▲



03 家具の固定

地震による被害は、建物の倒壊のほかに家具の転倒による圧死があります。

家具の配置を確認し、固定してみては？



04 家族との連絡手段

自宅以外の場所で被災したり、家族が遠方に住んでいたりする場合に、家族の安否確認方法を事前に決めておきましょう。



05 防災リュック

緊急避難時に自宅から避難所へ持ち出す防災グッズとして、防災リュックや非常用持ち出し品を用意しておきましょう。



「その時」は、いつ訪れるか分かりません。

近年、全国各地で大雨による浸水や土砂災害、大規模な地震などの自然災害が相次いで発生しています。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。

いざという時に自分や大切な人の命を守るためには、日頃からの備えが何より大切です。この機会に、防災について改めて考え、家庭でできる備えや避難方法などを確認しておきましょう。

もしもの時の確認を。
～皆さんも、やってみませんか～

減災意識度チェック

- ☐ 食料・防災グッズなどの十分な備蓄
- ☐ 非常用持出袋の準備
- ☐ 家具の固定など家屋の安全対策
- ☐ 家族同士の安否確認方法
- ☐ ハザードマップで、危険箇所の確認
- ☐ 避難場所や避難経路の確認
- ☐ 早めの避難行動の心がけ

「警報が出たら避難」ではなく、「自分が避難するタイミング」を知っておこう。

災害時には、刻々と状況が変化します。

気象庁などから発表される防災情報を確認し、警戒レベルに応じて早めに行動することが大切です。

避難のタイミングは 「レベル3」と「レベル4」

防災情報を受け取ったら、まずは「警戒レベル」を確認しましょう。

レベルが上がってから慌てて行動するのではなく、今の状況で何をすべきかを考え、早めに避難の準備をすることが重要です。

レベル5 特別警報

- すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
- 今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

レベル4 危険警報

- 危険な場所から全員避難する

レベル3 警報

- 高齢者等は危険な場所から避難する
- 高齢者以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難

レベル2 注意報

- 情報収集と災害リスクの確認
- 避難行動の確認と避難の準備を進める

河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する気象情報

9月9日は救急の日
9月6日～12日は救急医療週間

▶救急車の適正利用にご協力を!

町の令和6年の救急件数は、2,180件で、前年に比べて92件増加し過去5年で最多となりました。そのため救急車の到着までに時間を要する場合があります。

救急車は、突然の病気や重大な事故など、緊急に医療機関への搬送が必要な方のための限りある資源です。

軽症の場合でも救急車が出動することで、本当に救急車を必要としている方への対応が遅れてしまう可能性があります。

病気やけがで救急車を呼ぶか迷ったときは、こちらから確認してください。▶▶▶▶



▶応急手当を身につけましょう

尊い命を救うためには、救急車が現場に到着するまでの間に、現場に居合わせた方が適切な応急手当を行うことがとても重要です。

家族や大切な人を守るために救命講習を受講しましょう。

※9月9日(水)「上級救命講習」を行います。詳細は、「広報はこね」8月号を参照してください。

申し込み・照会先

消防署警備課 ☎82-4511



防災情報はここから!

町公式LINEでは防災行政無線で放送した情報を配信しています。聞き取れない、聞き逃してしまった場合も確認できますので、ぜひ登録してください。

また、町ホームページでは「緊急・防災・消防」ページを設置し、ハザードマップや避難所一覧などの情報を掲載しています。

CHECK
01 防災情報
(町HP)



CHECK
02 LINE
(町公式)



CHECK
03 X
(旧Twitter)



CHECK
04 防災行政無線
テレホンサービス

放送した内容が確認できます。
フリーダイヤル
☎0120-856-050
※24時間経過した内容は削除されます。

CHECK
05 戸別受信機

屋内で放送を受信します。
戸別受信機は、購入が必要です。
※希望者は総務防災課まで
→☎85-9561

自分を守り、周りも守る

防災は、特別なことではなく、日々の暮らしの中で少しずつ積み重ねていけるものです。「自分の命は自分で守る」という意識が、家族を守り、地域を支える力にもなります。災害が起きたときにどう行動するかを考えることは、自分自身と向き合うことでもあります。避難場所や避難経路を確認する、非常持出品を準備する、家族との連絡方法を決めておくなど、一人ひとりにできる備えが

あります。また、災害時には、自分だけでなく、周囲の人と助け合うことも大切です。日頃から地域で声を掛け合い、互いに支え合う関係を築いておくことが、いざというときの安心につながります。行政の取り組みや制度、災害に関する情報も上手に活用しながら、まずは自分や家族に必要な

備えを考えてみましょう。そして、できることから一つずつ行動に移していくことが大切です。今日の小さな備えが、いざというときの大きな力になります。一人ひとりの備えが家族を守り、地域の支え合いにつながり、やがて町全体の防災力を高める第一歩となります。

令和8年度 箱根町総合防災訓練



日時 10月15日(木) 10時～(予定)

場所 仙石原浄水センター ※駐車場あり

内容 防災関係機関が一堂に会し、災害時における官民の連携を深めていく貴重な場となっています。どなたでも観覧できますので、ぜひこの機会に足を運んで防災について考えてみませんか。

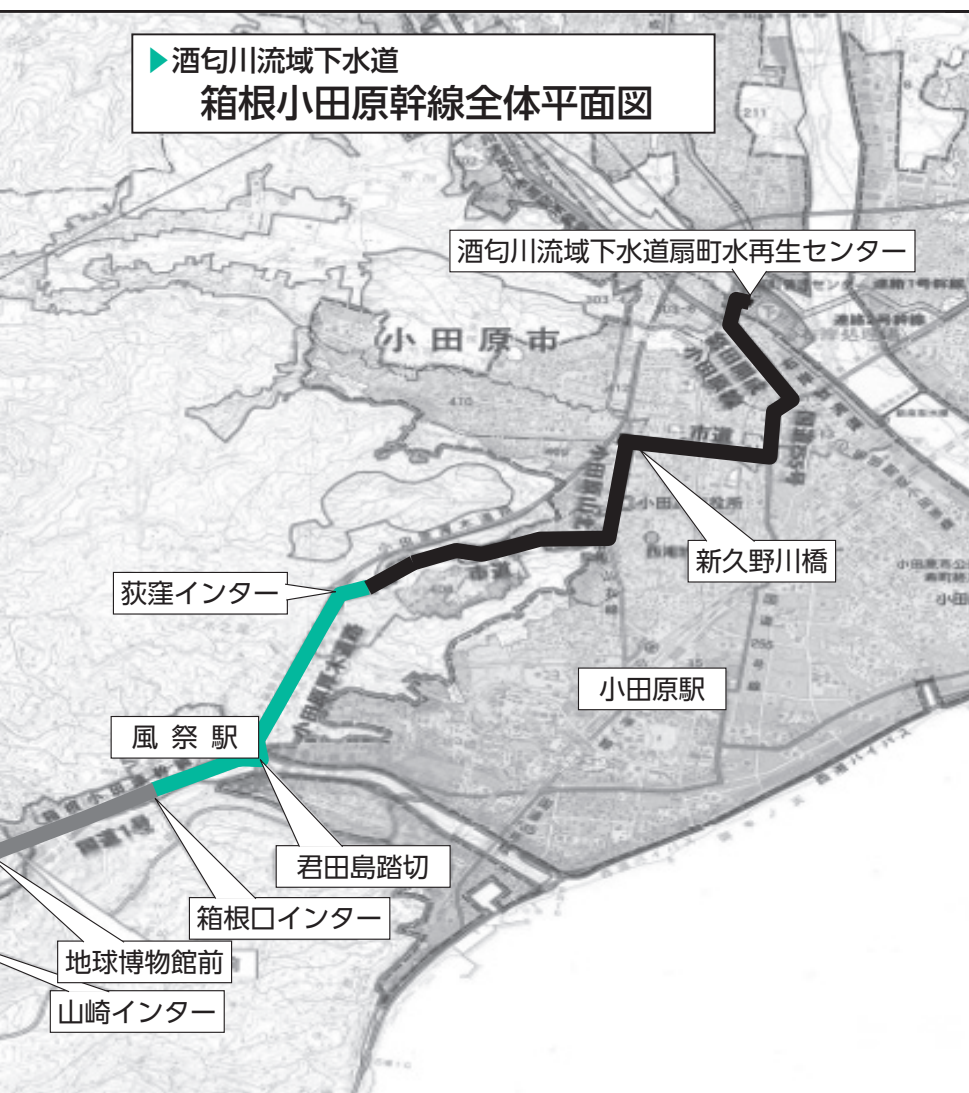
「酒匂川流域下水道」と「第3号公共下水道（湯本処理区）」

▼工事概要 ※神奈川県の記事

箱根小田原幹線は、湯本処理区の下水を酒匂川流域下水道扇町水再生センターへ流すために布設されている全長9.2kmの流域下水道幹線です。

平成23年から工事に着手しており、令和7年度末の進捗率は約44%です。

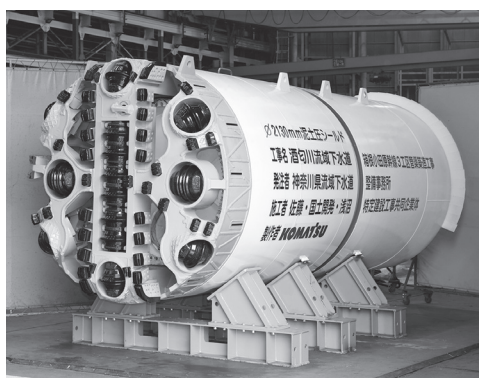
現在、箱根インターから荻窪インター間を施工中で、シールド工法で工事を行っています。



 : 完成
 : 施工中
 : 未施工

令和7年3月末 現在

POINT



▶箱根に適した工法

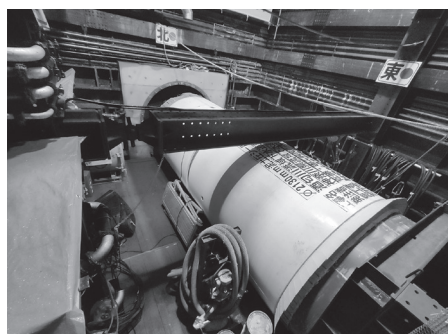
この工法は、地上に温泉配管や既存のライフラインが密集する箱根ならではの課題をクリアするために導入されました。掘削中は常に地盤の安定を確保しながら慎重に作業が進められ、監視体制も整備されています。こうした見えない努力によって、安全で効率的な整備が実現されます。

工事のポイント「シールド工法」

▶ どんな工法？

地中深くをトンネルのように掘り進む高度な掘削技術です。

地表を掘り返すことなく、シールドマシンという大型機械で地下にトンネルを作りながら管を通すため、交通への影響が少なく、住民の生活にも配慮した工法と言えます。



参加しよう！
第28回
下水道ふれあいまつり

流域下水道を管理している神奈川県下水道公社が、下水道への理解と関心を深めてもらうため、下水処理場の施設を開放したまつり形式の施設見学会等を実施します。

普段見ることのできない下水処理場の見学や微生物の観察も体験できます。

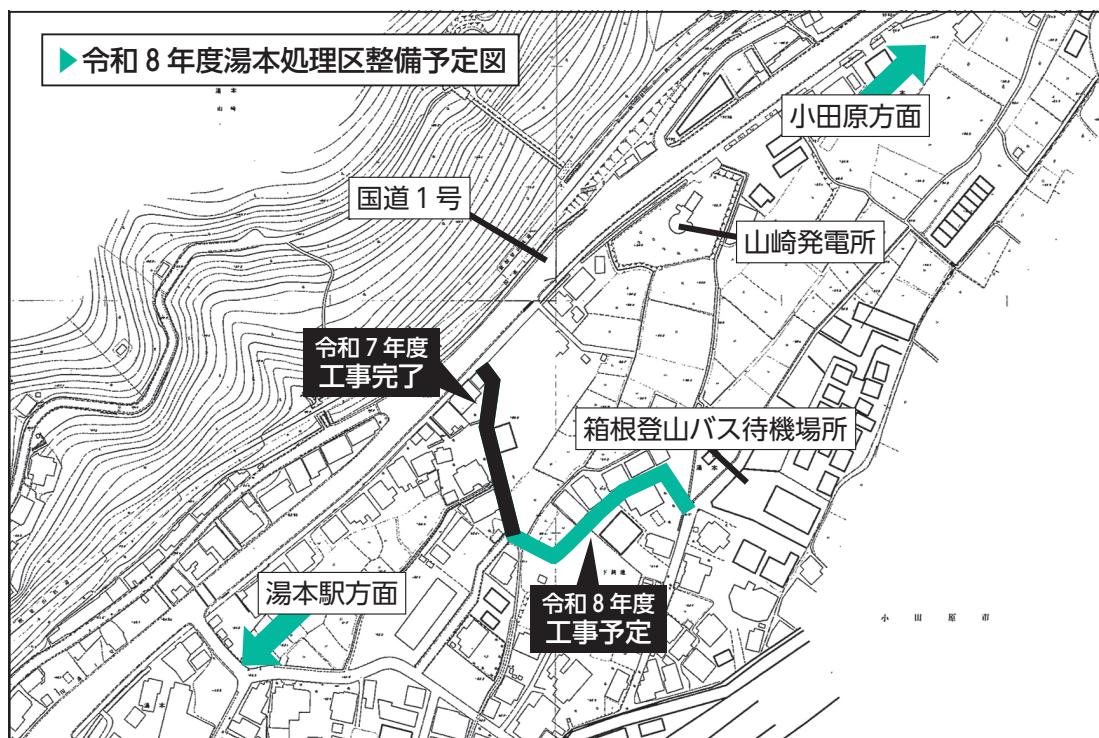
日にち：10月24日(土)

時間：10時～15時

場所：酒匂
きらり広場



詳しくはこちら▲



▲工事概要 ※町の事業

町では下水を酒匂川流域下水道幹線の供用開始に合わせて、令和7年度から第3号公共下水道事業として湯本処理区の下水道管整備工事に着手しています。

引き続き令和8年度も「第2工区」として、湯本山崎地区の箱根登山バス待機所付近から工事を行います。



町からのお知らせ

照会先 上下水道温泉課 ☎85-9567



無断で下水道に接続しないでください！

01 公共下水道への接続のお願い

公共下水道整備区域（宮城野・強羅・二ノ平・小涌谷・仙石原・箱根・元箱根の各一部）にお住まいの方で、公共下水道に未接続の場合は、早期の接続をお願いします。

下水道への接続工事は、必ず町の指定工事店へ依頼し、申請書は工事が始まる前に町へ提出してください。なお、接続工事費用について要件を満たす場合には、補助金や貸付金を受けることができます。

公共下水道整備区域や町の指定工事店、補助金や貸付金の制度など不明な点は問い合わせてください。

02 9月10日は下水道の日

下水道の日に合わせて下水道接続PRを実施します。

9月中旬から下旬にかけて担当職員が未接続のお宅を訪問し、接続に関する説明を行います。

公共下水道の普及にご協力をお願いします。



詳しくはこちら▲

03 公共下水道を使用している皆さんへ

転居等で使用者が変更となる場合の手続きや、下水道に流してはいけないものの案内はこちらです。→



9/26 箱根ときのみがオープン

旧箱根芦之湯フラワーセンターが
新たな運営のもとオープン！

町は、民間事業者を活用した施設利用（旧箱根芦之湯フラワーセンター）について株式会社ケイシイシイと、契約を締結しました。株式会社ケイシイシイは新たに「株式会社箱根ときのみ」を設立し、同所を飲食・物販を中心とした施設として運営します。オープンは9月26日土曜日。施設名称は社名でもある「箱根ときのみ」です。町民の皆さんや観光客など、多くの方に親しまれる施設を目指します。

どんな施設になるの？



箱根の魅力を生かした新たな施設へ

「箱根ときのみ」は、これまで植物園として親しまれてきた歴史を受け継ぎ、箱根の山々や豊かな自然との調和を大切に空間として整備されました。館内には、物販・テイクアウト・カフェの機能を備え、箱根を訪れる方だけでなく、町民の皆さんも気軽に立ち寄ることができる施設となります。また、バリアフリー設計など、さまざまな方が利用しやすい環境にも配慮されています。



※店舗入り口イメージ

観光だけじゃない、
地域とつながる身近な施設に

新たな施設では、箱根の魅力を発信するだけでなく、地域とのつながりを大切にした取り組みも進められます。

寄木細工をはじめとする地域の伝統工芸事業者や職人との協業を通じて箱根の文化を発信するとともに、地元の小中学生や高校生を対象とした製菓体験やワークショップなど、子どもたちが地域の魅力に触れる機会も設けられます。また、英語・中国語・韓国語を中心とした多言語対応を進め、さまざまな方が利用しやすい環境を整えるほか、災害時には行政と連携し、施設の開放や多言語による情報伝達支援を行うなど、地域の安心にもつながる役割が期待されています。

内覧会を開催します！

オープン前に、新しい施設をひと足早くご覧いただけます。

ぜひこの機会に施設をご覧いただき、新たな魅力を体感してください。

開催日

9月23日(水)～25日(金)

申し込み期間

9月1日(火)～14日(月)

申し込み方法

以下2次元コードから



照会先

観光課 ☎85-7410

INTERVIEW 一地域への思い

はじめまして。

株式会社箱根ときのみ総支配人の田中寛之です。

芦之湯の旧フラワーセンター跡地に「箱根ときのみ」がオープンします。森の恵みである「木の実」と、時間をかけて育む「時の実（熟成）」をコンセプトにした森のスイーツ・リゾートです。箱根の地に深く根を下ろし、皆様にワクワクする美味しさと笑顔をお届けしながら、愛され続けるお店をスタッフ一同目指してまいります。どうぞよろしく願いいたします。



箱根ときのみ
総支配人 田中 寛之 氏

information

◆ イベント

人 募集

🔔 お知らせ

◆ 自然に親しむ運動

【第6回「江戸時代の東海道を歩く」】

日本遺産にも認定されている旧街道土を歩きます。町学芸員による関所のガイド付きです。

日時 10月3日(土) 10時15分～

コース 甘酒茶屋～箱根旧街道～杉並木～箱根関所

定員 20人

参加費 保険代100円

申し込み方法 9月23日(水)

※詳細は箱根ビジターセンターホームページを確認してください。

申し込み・照会先

箱根ビジターセンター ☎84-9981

☒hakone-vc@kanagawa.email.ne.jp



◆ 秋の山野草展

植物学者・牧野富太郎によって発見、命名されたジョウロウホトトギスとその近縁種を展示します。

そのほか、ダイモンジソウやイワシャジンなど、秋を代表する山野草や木の葉の美しい樹木、ダイモンジソウの園芸品種など150種800点展示します。

期間 9月19日(土)～11月8日(日)

会場 園内企画展会場

展示総数 約150種800点

照会先 箱根湿生花園 ☎84-7293



◆ 2026 健康・福祉フェスティバル

健康・福祉フェスティバルは、「箱根町健康の日」(毎年9月30日)にちなみ、健康と福祉に対する意識高揚と健康づくり活動の普及啓発を目的としたイベントです。

日時 10月1日(木) 10時～15時15分

場所 さくら館

内容 10時～13時

- ・各種健康測定
- ・展示、体験コーナー
- ・手作り小物、お惣菜等の販売

13時45分～15時15分

社会福祉協議会顕彰式、健康づくり講習会、

いきいきHAKONE体操 など

その他 町制70周年記念ブースもあります！ぜひ遊びにきてください。

プールの利用料は終日無料です！

照会先 さくら館 ☎85-0800



◆ 県西地域2市8町共同開催環境教室 ◆ 「みんなで海洋プラスチックを探そう！」参加者募集



近年、海洋プラスチックが生態系に与える影響などについて、国際的に関心が高まっています。

海岸での海洋プラスチック探しとごみ拾いを通じて、海を守るためにできることを考えてみましょう。

日時 10月3日(土) 10時～正午

会場 酒匂川河口海岸 (集合場所 小田原市立白鷗中学校駐車場)

※雨天中止 (開催可否は前日に判断し、メール等でお知らせします)

講師 プラごみゼロ チームおだわら

持ち物 筆記用具

対象 県西地域在住の小学3～6年生

定員 20組 (参加者1人につき保護者は原則1人まで同伴可)

※定員を超えた場合は抽選

申し込み方法 e-kanagawa電子申請システムから申し込み

申し込み締め切り日 9月30日(木)

照会先 環境課 ☎85-9565



◆ 第8回 箱根ジオパーク フォトコンテスト開催中！

入賞作品はGREEN×EXPO 2027に展示されます！皆さんの箱根ジオパークを世界に発信しませんか？皆さん奮って応募してください！

応募方法 応募フォームから必要事項を入力し、

応募してください。

コンテストサイトへはこちら

→ <https://www.hakone-geopark.jp/information/photocon8.html>

主催 箱根ジオパーク推進協議会※

照会先 県西地域県政総合センター商工観光課

☎0465-32-8908



「GREEN×EXPO 2027」の詳細はこちら



※箱根ジオパークエリア(箱根町、小田原市、真鶴町、湯河原町、南足柄市)および神奈川県と地域住民、事業者などで構成され、日本ジオパークに認定された「箱根ジオパーク」の維持、発展に向け、さまざまな活動を行っています。

不登校相談会・進路情報説明会

不登校で悩む児童・生徒や保護者を対象に、社会的自立や学校生活の再開に向けた支援を行います。

日時 10月17日(土) 13時～16時30分
※受付：12時30分～16時

場所 小田原合同庁舎3階
3DEF会議室
(小田原市荻窪350-1)

内容 ・個別相談会
・フリースクール等活動紹介
・進路についての情報提供 など

その他 事前申し込み不要

照会先 神奈川県教育委員会
子ども教育支援課小中学校生徒指導グループ
☎045-210-8292 (直通)

年金生活者支援給付金制度のご案内

●老齢・障害・遺族基礎年金を受給している方で、前年度所得額が低下したことなどにより、新たに年金生活者支援給付金の支給対象となる方には、9月頃から順次、日本年金機構から年金生活者支援給付金請求書(はがき型)が送られる予定です。(すでに給付金を受給している方は、新たな手続きは不要です。)

●給付金を受け取るには、「年金生活者支援給付金請求書」の提出が必要です。原則、手続きした翌月分から支給の対象となりますので、速やかな手続きが必要です。

●請求について不明な点がありましたら、給付金専用ダイヤルまたは、小田原年金事務所まで連絡してください。

●「年金生活者支援給付金」をかたる詐欺にご注意ください。日本年金機構や厚生労働省から電話でお客様の家族構成や金融機関の口座番号や暗証番号を聞くことはありません。手数料などの金銭を求めることもありません。不審に感じましたら日本年金機構や警察相談専用電話(☎9110)に連絡してください。

照会先

- 給付金専用ダイヤル
☎0570-05-4092
- 小田原年金事務所
☎0465-22-1391

英語に関する技能検定料を補助します！

町内に在住の方が受験する英語に関する技能検定の検定料を全額補助しています。

技能検定の種類 英語検定 ※年度内に1人につき1回までです。

対象 小学生または中学生の保護者

照会先 学校教育課 ☎85-7600 (直通)

技能検定の種類 ①英語検定

②TOEIC Listening & Reading Test

および TOEIC Speaking & Writing Test

※年度内に1人につき①・②各1回で計2回までです。

対象 高校生など15歳以上の方またはその保護者

照会先 生涯学習課 ☎85-7601 (直通)

【共通】

申請方法 申請書等を各照会先に提出してください。(郵送または持参)

※申請書等は町ホームページからダウンロードできます。

※補助金は申請書提出後、指定口座に振込みます。

※受験日に満18歳以上の方は、成年年齢に達しているため、高校生であっても本人が申請してください。

提出期限 令和9年2月26日(金)



音楽講座「音楽のチカラ」

ヴァイオリン奏者と2人のピアニストによる生演奏を聴くコンサートです。ヴァイオリンとピアノが奏でる、季節の音楽で楽しいひとときを一緒に！

日時 9月24日(木)

一部：10時～11時

二部：14時～16時

場所 仙石原文化センター ホール

対象 一部：赤ちゃんから参加可能

二部：どなたでも参加可能

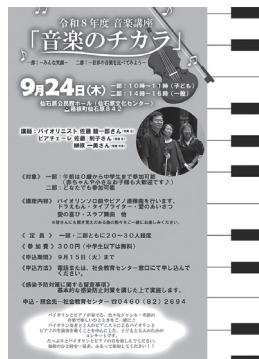
定員 一部、二部共に20～30人程度

参加費 300円 (中学生以下は無料)

申し込み方法 電話または窓口

申し込み期間 9月15日(火)まで

照会先 社会教育センター ☎82-2694



中国料理教室

箱根町在住オーナーシェフとわが家で楽しむ本格派中国料理作りを楽しみませんか。

日時 10月7日(水) 11時～13時30分

場所 社会教育センター調理室

定員 15人

参加費 受講料300円、
材料費1,000円程度

持ち物 タオル、エプロン、頭を覆うもの、
包丁、中華鍋(用意できる方)

申し込み方法 電話または窓口

申し込み期間 9月15日(火)～30日(水)

照会先 社会教育センター ☎82-2694



郷土資料館臨時休館のお知らせ

9月12日(土)は、資料のくん蒸作業のため、臨時休館します。

照会先 郷土資料館 ☎85-7601





マイナンバーカード専用 休日窓口開設

日時 9月27日(日) 8時30分～正午
場所 役場本庁舎2階 町民課窓口係
取扱事務

- ▶マイナンバーカードの受け取り・申請
(顔写真撮影+オンライン申請+郵送
受け取り可)
 - ▶電子証明書の更新・発行
- ※マイナンバーカード事務以外の取り扱いはありません。

照会先 町民課 ☎85-7160



献血実施のお知らせ

日時 9月29日(火)

場所・受け付け時間

- ・役場庁舎前駐車場 9時30分～正午
- ・さくら館 14時～16時

対象 18歳～64歳

共催 箱根ライオンズクラブ

照会先 さくら館 ☎85-0800



令和9・10年度競争入札参加資格定期認定申請書を 受け付けます

認定期間は、令和9年4月1日～令和11年3月31日です。

入札には、県などとの共同運営による「かながわ電子入札共同システム」を利用します。

対象 町が発注する工事、業務の委託および物品の納入などの入札に参加を希望する事業者

提出書類 〈共通事項〉送付先別提出書類一覧表、誓約書、貸借対照表他
〈固有事項〉送付先別提出書類一覧表、町税納税証明書および委任状

申請方法 「かながわ電子入札共同システム」ホームページ (<http://nyusatsu.e-kanagawa.lg.jp/>) の「資格申請システム」から申請してください。

※共通事項に関する書類は、申請業種によって、宛先が異なります。詳しくは、上記ホームページにて確認ください。

※固有事項に関する書類は、財務課に簡易書留で郵送(〒250-0398 箱根町財務課)、または持参

申請データ受け付け期間 10月1日(木)～11月30日(月)

提出書類受け付け期間 10月1日(木)～12月1日(火)(当日消印有効)

照会先 財務課 管財契約係 ☎85-9563



悩みを抱えていたら、ひとりで悩まないで

毎年9月10日は世界自殺予防デーです。この日を含む1週間(9月10日～16日)は「自殺予防週間」です。この期間は自殺に追い込まれる苦しさや、支えあう大切さについて考える時間です。

自殺は、心や体のつらさ、経済的な不安、人間関係の悩みなど、色々な理由で追い込まれてしまったときにおこることがあります。

近年では、子どもや若い人が自ら命を絶つことが増えており、過去最多の水準が続いています。

自殺予防週間をきっかけに、身近な人の変化に気づき、声をかけ、つながりを大切にしていきましょう。

あなたにできること

身近な人に声をかけること、話を聴くことが、誰かの安心につながります。
一人一人の思いやりが、命を守る大きな力になります。



悩んでいるあなたへ

どんな人でも心がつらくなるときがあります。つらい気持ちを抱えていませんか。
つらい気持ちを言葉にするだけでも、気持ちが少し楽になることがあります。

ひとりで悩んでいませんか？



相談窓
口

こころの電話相談 毎日24時間受付

▶0120-821-606

24時間子どもSOSダイヤル

▶0120-0-78310

※神奈川県「かながわこころの情報サイト」に相談窓口の記載があります。詳しくはこちら▶▶



あなたの行動が誰かの命を守る力になります。一緒に支え合いましょう。

❖ 定例イベント ❖

認知症に関する催し

▶おだわら・はこね家族会

日 時 9月18日(金) 10時～正午
場 所 小田原市役所 6階 601会議室
 (小田原市荻窪300)
内 容 認知症の方を介護されているご
 家族が集い、日頃の悩みごとを
 共有し、情報交換を行います。
対 象 誰でも参加できます。
照会先 福祉課 ☎85-7790

▶認知症サポーター養成講座

日 時 9月25日(金) 14時～15時30分
場 所 仙石原文化センター 2階 第2会議室
内 容 認知症を発症された方とそのご家族を見守るため、また認知症を自分事とし
 て考えるため、認知症について正しく学びます。
対 象 町内在住・在勤の方
講 師 地域包括支援センター職員 (キャラバン・メイト)
その他 団体、事業所単位での出張講座も随時受け付けています。
照会先 地域包括支援センター ☎85-3002

▶キャロットカフェ (認知症カフェ)

日 時 9月28日(月) 14時～15時30分
場 所 箱根リラック森
 (二ノ平1297-370)
内 容 認知症を発症された方やそのご
 家族、専門職の方などが集い、
 認知症についての情報交換など
 を行います。
対 象 誰でも参加できます。
参加費 500円 (コーヒー、菓子代)
照会先 地域包括支援センター
 ☎85-3002

▶オレンジカフェ宮城野 (認知症カフェ)

日 時 9月3日(木) 13時30分～15時
 (入退場自由)
場 所 さくら館 2階 旧ファースト
 (宮城野881-1)
内 容 もの忘れが気になる方やそのご
 家族、ちょっとしたおしゃべり
 を楽しみたい方、どなたでも、
 お茶とお菓子を囲んで楽しく交
 流しましょう。みんなで歌を
 歌ったり、介護予防や介護サー
 ビスなどのミニ講話も実施して
 います。福祉・介護の専門職も
 参加します。
対 象 誰でも参加できます。
参加費 100円 (運営費、飲物菓子代)
運営団体 むつみ会・箱女連宮城野女性
 会 (チームオレンジ)
照会先 地域包括支援センター
 ☎85-3002

おとな水泳教室

▶おとな水中運動教室

日 時 9月8日(火)・22日(火)
 14時～15時/18時30分～19時30分

▶おとな水泳教室

日 時 9月2日(水)・11日(金)・16日
 (水)・25日(金)
 18時30分～19時30分
対 象 中学生以上
定 員 各回15人
参加費 1回券800円、マンスリーパス
 3,000円
申し込み方法 各回の15分前までに来て
 ください。

▶温水プール休業日

日 程 9月7日(月)・14日(月)・24日(木)・
 28日(月)
 ※大雨などによる通行止めの場
 合、臨時休業する場合があります。

照会先 さくら館 ☎85-0800

▶プライベートレッスン

日 程 毎週火曜日：15時～18時30分
 毎週木曜日・土曜日：13時～17時
対 象 3歳児以上
参加費 30分 (1コマ) 4,000円
申し込み方法 前日までに電話

【共通】

持ち物 水着、水泳帽、タオル
入場料 別途大人300円、中学生以下100
 円 (障がいのある方、未就学児
 は無料)
照会先 さくら館 ☎85-0800

やまなみ荘

▶趣味の教室 (書道)

日 時 9月4日(金)・18日(金)・
 10月2日(金)
 13時30分～15時30分
対 象 町内在住の60歳以上の方
 ※開催日および開催時間が変更になる場
 合があります。

▶健康相談

日 程 9月4日(金)・10月2日(金)
受け付け時間 13時30分～14時
内 容 健康管理、生活習慣病予防、食
 事指導、血圧測定など
対 象 町内在住の60歳以上の方
照会先 福祉課 ☎85-7790

普通救命講習Ⅰ・上級救命講習会

救える命のために。

①上級救命講習会

日 時 9月9日(水) 8時30分～17時30分
対 象 町内在住 (高校生以上)・在勤の方
参加費 テキスト代2,200円 (価格が変動する場合があります)

②普通救命講習Ⅰ

日 時 9月29日(火)・10月9日(金)・24日(土) 9時～正午
対 象 町内在住 (中学生以上)・在勤の方
参加費 無料

【共通】

場 所 消防本部 体育訓練室
定 員 各20人
持ち物 動きやすい服装、水分、タオル、筆記用具
申し込み方法 最寄りの消防署
その他 修了者には修了証を発行
照会先 消防署 警備課 ☎82-4511

各種相談案内

	対象・内容	日 時	場 所	申し込み・照会先
エイズ相談・検査	HIV抗体の即日検査 ※匿名・無料で検査可能	9月17日(木) 9時～11時 ※予約制。希望する方は前日までに連絡してください。		
骨髄ドナー登録	骨髄ドナー登録のための採血 ※登録者要件等、詳細については、下記の二次元コードをご確認ください。 	10月6日(火) 11時受付 ※予約制。希望する方は前日16時までに連絡してください。	小田原保健福祉事務所 ☎0465 - 32 - 8000 (内線: 3247)	
精神保健福祉相談	こころの健康や精神疾患に関する相談	9月15日(火)・29日(火)・10月8日(木) いずれも13時30分～16時30分 ※予約制。希望する方は前日までに連絡してください。	小田原保健福祉事務所 ☎0465 - 32 - 8000 (内線: 3250)	
認知症相談	認知症に関する相談	9月24日(木) 13時30分～16時30分 ※予約制。希望する方は前日までに連絡してください。	小田原保健福祉事務所 ☎0465 - 32 - 8000 (内線: 3243)	
療育歯科相談	歯科医師などによる、障がいや慢性疾患があるお子さんの検診や食べ方相談	9月24日(木) 9時～15時30分 ※予約制。希望する方は前日までに連絡してください。	小田原保健福祉事務所 ☎0465 - 32 - 8000 (内線: 3238)	
心配ごと相談	生活、人権に関する相談、国や県への要望など	9月1日(火) 元箱根集会所 9月2日(火) 役場分庁舎 9月8日(火) 仙石原文化センター 9月14日(月) さくら館 いずれも13時30分～14時30分 ※希望する方は事前に予約してください。 ※相談は電話でも受け付けていますので、暮らしの中での困りごとなどがある場合は福祉課に連絡してください。	福祉課 ☎85 - 7790	
子どもほっと相談	教育に関する相談	9月1日(火) 元箱根集会所 9月2日(火) 役場分庁舎 9月8日(火) 仙石原文化センター 9月14日(月) さくら館 いずれも11時～15時 ※相談を希望する方は事前に予約してください。	教育相談センター ☎85 - 7776	
福祉相談会	対象：身体・知的・精神障がい者および家族 内容：専門家による面接相談、電話相談	9月10日(木) 10時～正午	さくら館 ボランティア室	福祉課 ☎85 - 7790
行政書士による 成年後見・遺言・相続等 無料相談会	自分自身や大切なご家族の将来の安心に備えるために、気になることを相談してみませんか？	10月8日(木) 14時～16時 ※相談を希望する方は事前に地域包括支援センターに申し込んでください。	仙石原文化センター 2階会議室	地域包括支援センター ☎85 - 3002
身体障がい者の補装具 相談会（更生相談会）	肢体不自由障がい者の補装具交付、修理相談	9月14日(月) 13時～15時（受け付けは14時まで） ※希望する方は9月10日(金)までに福祉課へ連絡してください。	小田原市 保健福祉センター (小田原市酒匂2-32-16)	福祉課 ☎85 - 7790
こども家庭センター	妊娠、出産、子育てに関する相談		子育て支援課 ☎85 - 9595	
教育相談センター 「ばれっと」	学校生活に関わることや子どもの教育に関わる相談	月～金 8時40分～16時50分	教育相談センター ☎85 - 7776	

善意の寄付

箱根町社会福祉協議会

- ▶ 箱根町宮城野女性会
会長 松井 洋子 様 5,000円
- ▶ 匿名 1件 米10kg

観光指定寄付金

- ▶ ホテル河鹿荘親和会
(会長 株式会社ヤマセイ
山田 昭夫) 様 154,600円

SDGs推進活動に対する支援金

- ▶ 小田急電鉄株式会社
(取締役社長
鈴木 滋) 様 62,040円

箱根電気工事工業会から寄贈！



箱根電気工事工業会（会長 西田直哉 氏）からデジタルカメラの寄贈物品の目録が贈呈されました。同会からは、毎年、学校の希望に沿った電気機器が寄贈されており、今回の寄贈物品は仙石原小学校で活用します。

照会先 学校教育課
☎85 - 7600

キッズ エリア KID'S AREA

毎月開催している子育て行事を紹介します



<予約はこちら



照会先 子育て支援課 ☎85 - 9595
※場所は全てさくら館



▶赤ちゃん和妈妈パパの会 ～いちごの教室～ 「産後の食事と ベビーマッサージ」

日時 9月4日(金) 11時45分～14時
対象 2か月～18か月頃までの乳幼児と保護者、妊婦など
※1週間前までに電話で申し込んでください。

▶すこやか親子教室

日時 9月3日(木) 10時～11時30分
対象 7か月頃～3歳頃のお子さんとその保護者
内容 お子さんを遊ばせたり、子育ての相談ができたります教室です。
持ち物 飲み物、汗拭きタオル、母子健康手帳など
※事前に電話で申し込んでください。
※次回は、10月1日(休)です。

▶健康診査日程

10か月児健康診査

日時 9月18日(金) 12時50分～13時20分受け付け
対象 令和7年9月・10月生まれの乳児
持ち物 母子健康手帳、歯ブラシ、問診票、バスタオル

1歳6か月児健康診査

日時 9月18日(金) 12時50分～13時20分受け付け
対象 令和7年2月・3月生まれの幼児
持ち物 母子健康手帳、歯ブラシ、問診票、バスタオル

2歳・2歳6か月・3歳児歯科健康診査

日時 9月18日(金) 13時10分～13時30分受け付け
対象 令和5年8月、令和6年2月・8月生まれの幼児
持ち物 母子健康手帳、歯ブラシ、歯科保健カード



赤ちゃん誕生

みやた さら
宮田 彩良ちゃん

6/22生まれ

保護者 ▶ ひさし 尚 さん (仙石原)



子ども・幼児 水泳教室

▶ 日 程

A : 9月5日(土)、12日(土)、19日(土)、26日(土)

こども：9時～10時、幼児：10時～11時 *各時間定員15人

B : 9月6日(日)、13日(日)、20日(日)、27日(日)

こども：10時～11時、幼児：9時～10時 *各時間定員15人

午後：9月5日(土)、12日(土)

こども：13時～14時 *定員15人

▶ 対 象 こども：小学生、幼児：3歳～未就学児（要オムツ離れ）

▶ 受講料 1回券 600円、マンスリー 4 2,000円

*マンスリー 4 は、有効期限内で4回まで受講が可能です。

▶ 受講方法 受講希望日の前日までに、プール受付へ直接、または電話

▶ 予約開始日

9月1日(火)より受け付けます。

なお、10月の予約は9月29日(火)より受け付けます。

プライベートレッスン

▶ 日 程

毎週火曜日：15時～18時30分

毎週木曜日・土曜日：13時～17時

▶ 対 象

3歳児以上

▶ 受講料

30分（1コマ）4,000円

▶ 内 容

個人の泳ぎのレベルや希望に応じたレッスンを行います。

共 通

▶ 持ち物 水着、水泳帽、タオル

▶ 入場料

大人300円、中学生以下100円（障がいのある方、未就学児は無料）

▶ その他

*大雨などによる通行止めの場合、臨時休業する場合があります。

*児童・幼児用プールもあります。付添の方が
必要な場合がありますので、詳細は町ホーム
ページを参照するか、電話で問い合わせてく
ださい。

▶ 照会先 さくら館 ☎85 - 0800



「家庭教育を考える」

～地域でささえる・地域へつなぐ～

夏休みを終えた箱根中学校の校舎には、再び生徒たちの元気な声が響き渡っています。

少し先の行事となりますが、2年生が心待ちにし、同時に緊張感を持って臨むのが「職場体験学習」です。箱根町内の多くの事業所の皆様から、温かいご理解とご協力をいただき、生徒たちは実際の仕事現場に身を置きます。

家庭や学校で見せる「子ども」の顔を脱ぎ捨て、一人の社会人見習いとして地域に飛び出すこの体験は、生徒たちに大きな変化をもたらします。

また、この「地域でささえる」仕組みを通して、子どもたちは自らの将来を描き、社会へと進んでいく準備ができるようになります。体験から帰ってきた生徒たちの顔つきが、どこか誇らしげに見えるのは、体験先の方々が彼らを一人の大人として扱ってくださった証でもあります。

中学生という時期は、親離れが始まり、家族以外の大人や社会との関係性を模索する時期です。

だからこそ、「家庭教育」を家庭という箱の中に閉じ込めず、地域という広いフィールドへつなげていくことが重要です。

これからも、学校・家庭・地域が共に手を取り合い、より良い環境づくりのために歩んでまいりたいと思います。

箱根中学校

社会教育センター図書室

照会先 社会教育センター ☎82-2694

新着図書情報などはこちらから▶

社会教育センター図書室

検索



今月のおすすめ図書紹介



9月20日は「バスの日」です。明治36年（1903年）に日本で始めてバスが走ったことを記念して、日本バス協会が決めました。今月はバスの絵本を紹介します。



「おべんとうバスのころころりん」

真珠まりこ（作・絵）
ひさかたチャイルド

きょうは、おべんとうバスに乗って、ころころやまへお出かけです。山の上に着くと、ころころりん遊びが始まりました。トップバッターのハンバーグくんは上手に斜面を転がっていきます。たまごやきさんも野菜たちも続きますが、えびフライちゃんは何だか不安そうで…。



「ねこバスツアー」

くさかみなこ（文）
北村裕香（絵）
アリス館

ミケネコかんこうのバスツアーは、お楽しみが盛り沢山です。最初に向かったのは、かつおぶし工場、いいにおいが漂ってきます。まず工場見学をして、試食をして、おみやげを選んで、ねこたちはご機嫌です。次は、ねこじまで魚のつかみ取りです。おいしい魚が、いっぱい取れるでしょうか？



読書アルバム

～ 本を記録して心の宝物を増やしませんか？ ～

読書アルバムは、社会教育センター図書室で借りた本の記録を手軽に残すことができるアルバム（手帳）です。自らの読書記録を写真アルバムのように振り返ることができるので、ぜひ活用してみたいはいかがでしょうか？

★読書アルバムは社会教育センター窓口で配布しています。



移動図書館きつつき号巡回予定表



第 1 コース		
箱根幼稚園	9 / 9 (水)	9 : 20～ 9 : 40
畑宿寄木会館		10 : 00～10 : 15
湯本茶屋 (台の茶屋停留所下)		10 : 30～10 : 45
山崎集会所		11 : 00～11 : 15
第 2 コース		
箱根の森小学校	9 / 10 (木)	10 : 20～10 : 40
大平台姫之湯		13 : 50～14 : 05
宮ノ下駐車場		14 : 20～14 : 35
強羅向山公園駐車場		14 : 45～15 : 00
宮城野保育園		15 : 10～15 : 40
第 3 コース		
湯本小学校	9 / 11 (金) ・ 25 (金)	12 : 50～13 : 20
役場本庁駐車場		13 : 30～13 : 45
湯本幼児学園		15 : 00～15 : 15
町社会福祉協議会		13 : 55～14 : 25
		14 : 35～14 : 50

第 4 コース		
さくら館	9 / 2 (水) ・ 16(水) ・ 30(水)	10 : 45～11 : 00
宮城野公民館		11 : 10～11 : 25
箱根中学校	9 / 2 (水) ・ 9 (水)	12 : 55～13 : 10
元箱根集会所	9 / 2 (水) ・ 16(水) ・ 30(水)	13 : 45～14 : 00
箱根集会所		14 : 10～14 : 25
第 5 コース		
仙石原小学校	9 / 4 (金) ・ 18(金)	12 : 40～13 : 00
アレンジメントケア箱根仙石原		13 : 40～13 : 55
仙石原幼児学園		14 : 10～14 : 40
仙石原文化センター		14 : 55～15 : 10

※巡回予定は変更になる場合があります。詳しくは社会教育センターに問い合わせてください。

はこぼうマップ

交通情報（バスの所在地や交通機関運行情報）・
防災情報（避難所開設情報など）が1つのマップで確認できます。



オススメ！野菜いっぱいRecipe

健康・食育はこね21

材料（2人分）

春まきの皮	4枚
ハム	4枚
とろけるスライスチーズ	4枚
とうもろこし	1/2本
●パプリカ赤	1/2個
●ズッキーニ	1/2本
●玉ねぎ	1/8個
コンソメ	1/2個
塩	1つまみ
こしょう	少々
サラダ油	少々

作り方

※調理時間およそ45分

1. とうもろこしはゆでて実をとっておく。
2. ●の野菜を1cm角に切って、フライパンで炒め、コンソメ（砕いて入れる）、塩、こしょうで味付けする。
3. 春まきの皮にハム、チーズ、2で作った野菜、1のとうもろこしをのせて包む。
4. フライパンにサラダ油をひいて、中火で両面焼き色がついたらできあがり。

応募者からのレシピポイント

チーズで野菜が食べやすい。

栄養価（1人分）
エネルギー：308kcal
蛋白質：15.6g
脂質：16.9g
食塩相当量：2.7g

【参考】
令和6年度レシピ集



町ホームページに掲載

春まきの皮で「夏やさいのブリトー」



毎月19日は「食育の日」

照会先 さくら館 ☎85-0800

休日急患（医科）

当番医は変更となる場合がありますので、必ず消防署（☎82-4511）で確認してください。

診療時間 9時30分～17時

当番日	当番医	所在	電話番号
9/6	仙石原永井医院	仙石原	84-8295
13	元箱根木村医院	元箱根	85-1117
20	箱根リハビリテーション病院	仙石原	84-9111
27	箱根リハビリテーション病院	仙石原	84-9111

※9/21(月)・22(火)・23(水)は小田原市休日夜間急患診療所（小田原市酒匂2-32-16/☎0465-47-0823）を利用してください。
診療時間は8:30～11:30、13:00～15:30、18:00～22:00です。

※受診の際にはお薬手帳を持参してください。

※急な病気・けがをした場合は、かながわ救急相談センター（☎#7119）で24時間365日相談できます。緊急性があるか、受診の必要があるか迷ったら、まずはこちらを利用してください。

※夜間診療ができる病院などについては、消防署（☎82-4511）に問い合わせてください。

9月30日(水)納期限

税金・保険料の納期限

◎固定資産税	(第3期)
☆国民健康保険料	(第4期)
☆介護保険料	(第4期)
☆後期高齢者医療保険料	(第3期)

上記については、夜間・休日も、納付書裏面記載のコンビニエンスストアで納付ができます。（納期限が過ぎている納付書では納付できません）

納期限が過ぎている納付書で納める方は、至急役場本庁舎・出張所または金融機関で納付してください。

＝納付は便利な口座振替で＝
口座振替を希望される方は、
連絡してください。

町税の納付方法はこちらから➡



照会先 ◎税務課（収納係）☎85-9573
☆保険健康課 ☎85-9564

おくやみ（7/1～7/31受付分）

青山由美子さん	6/30	66歳	元箱根
佐藤シズさん	7/2	98歳	仙石原
三堀幸子さん	7/7	79歳	湯本
湯川保さん	7/7	91歳	湯本

村田耕一さん	7/9	75歳	大平台
樋口ミツ子さん	7/22	98歳	二ノ平
森本フミ子さん	7/25	83歳	宮城野

令和8年熊本地震災害義援金の受け付け

▶ **受け付け期間** 10月30日(金)まで
※土・日・祝日を除く、8時30分～17時
※各所の開庁時間、各施設の営業時間内で受け付けします。

▶ 受け付け方法

1 募金箱による受け付け



以下の14か所で行います。

- ・福祉課
- ・郷土資料館
- ・温泉出張所
- ・宮城野出張所
- ・仙石原出張所
- ・箱根出張所
- ・社会教育センター
- ・箱根関所
- ・箱根ジオミュージアム
- ・森のふれあい館
- ・町民課窓口係
- ・箱根湿生花園
- ・総合保健福祉センターさくら館
- ・老人福祉センターやまなみ荘

2 窓口による受け付け

高額の義援金や、領収証を必要とする場合は、以下の5か所で行います。

- ・福祉課
- ・温泉出張所
- ・宮城野出張所
- ・仙石原出張所
- ・箱根出張所

※領収証が必要な方は、義援金を募金箱に投函せず、窓口で申し出てください。

▶ **照会先** 福祉課 ☎85-7790

Photo ログ



7/28 洞爺湖中学生親善訪問団来町

7月28日から30日まで、姉妹都市の北海道洞爺湖町から中学生の親善使節団8人が来町しました。町内の施設見学では、箱根中学校の生徒が案内役を務め、中学生同士で交流を深めました。

8月5日から7日には、箱根中学校の生徒と先生が洞爺湖町を訪問。箱根町を訪れた洞爺湖町の中学生が今度は案内役となり、町内を紹介してくれました。

お互いのまちを訪れ、同じ時間を過ごす中で、再会を喜ぶとともに、両町の中学生同士のつながりをさらに深めることができました。

コミュニティの 輪 ～人と人を繋ぐ架け橋～

箱根ピックルボール倶楽部

▶ 活動内容

10代から70代と幅広い年齢層の仲間で、週3回程度練習を行っています。

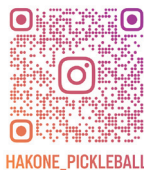
近隣市町のチームと交流戦や合同練習なども行っています。

▶ 活動日・活動場所

- | | | |
|-----|-----------|----------------|
| (火) | レイクアリーナ箱根 | (9時30分～12時30分) |
| (水) | 箱根中学校体育館 | (18時～21時) |
| (木) | 湯本小学校 | (18時～20時) |
| (金) | 箱根の森小学校 | (18時～20時) |
| (土) | 箱根の森小学校 | (9時～正午) |
| (日) | 箱根の森小学校 | (9時～17時) |

▶ 問い合わせ先

代表：勝俣広子 ☎87-7662



▶ メッセージ

ピックルボールは、テニス・バドミントン・卓球を組み合わせたようなスポーツで、運動経験のない方や高齢者でも始めやすいスポーツです。今後、各地域で体験会の開催を予定しておりますので、ご興味のある方は是非ご連絡ください。

「広報はこね」へのご意見をお聞かせください！

広報紙アンケート



箱根町
公式LINE
登録はこちら



マチを好きになるアプリ



マチイロ

いつでもどこでも広報紙を読むことができるスマートフォン・タブレット用無料アプリです。毎月広報紙が発行されるとお知らせが届きます。

